

マンモグラフィ撮影装置

富士フィルムの AMULET FDR MS-1000 を導入しており、デジタルシステムで直接変換方式の FDP（フラットパネルディテクタ）としては世界最小画素 50 ミクロンを実現した装置です。

（平成 26 年 3 月現在）

この装置は、光を介せずデジタル信号に変換する直接変換方式により、淡くはっきりしない病巣を見つけやすい鮮明な画像に表示することが可能です。乳房などの軟部組織の微妙な濃度差も画像化できるため、従来では描出の難しかった若い女性や乳腺の発達した乳房等も鮮明に撮影することができます。

さらに 50 ミクロンという世界最小画素を実現したことにより、小さな石灰化や癌もくっきりとした高画質の画像として見つけれられるようになりました。そしてフィルムを現像する必要がなくなったため、検査時間も短縮されました。

また、マンモグラフィ専用の待合室が新設され、落ち着いた雰囲気スペースでお待ちいただけます。

当院は、NPO 法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（精中委）が行うマンモグラフィの施設画像認定評価で A 認定を取得しています。検査を担当する女性技師も全て精中委により認定された認定技師です。

